

令和6年7月19日



担当課	和歌山城整備企画課
担当者	南、橋爪、西口
電話	(073) 435-1044
内線	3815

長年愛されたツキノワグマのベニーが天国へ旅立ちました



和歌山城公園動物園で飼育しているツキノワグマのベニー（メス 推定31歳）が、令和6年7月18日に息を引き取りましたのでお知らせいたします。

ついては、ベニーを偲ぶため、次のとおり献花台を設置いたします。

設置日時：令和6年7月20日(土) 午前9時00分

設置期間：令和6年7月20日(土)～8月25日(日)

設置場所：和歌山城公園動物園 熊園舎前

※ お供えはお花とお手紙に限らせて頂きます。

（お花とお手紙は、スタッフが随時園舎内に供え直します）

（ベニーとのこれまでの歩み）

ベニーは、京都市動物園で生まれた後、昭和47年の熊園舎整備後3代目の熊として、平成6年4月に和歌山城公園動物園（当時の名称は和歌山公園動物園）にやってきました。

飼育下ではありましたが、野生の習慣を保つため、冬眠期間を設けていたことから、ベニーの冬眠入りと冬眠明けのニュースは、地域の季節の話題としても毎年取り上げられ、和歌山城公園動物園を代表する動物として皆様に可愛がって頂き、平成27年に動物園の整備開始100周年を祝う一環で行われた園長選挙では、動物として初めての園長に選ばれました。

近年は高齢であることから、動きもゆっくりになり、加齢による変形性脊椎症の影響や体調不良のため、令和4年11月から展示公開を休止していました。

亡くなった前日は特に異常は見られず、当日も給餌の際に立ち上がるのに少し時間がかかったものの、食欲もあり、朝食も完食していましたが、14時30分頃に給餌のために園舎に入った飼育員が、ベニーが横たわっているのを発見し、確認したところ死んでいることがわかりました。死因はまだわかっておりません。（獣医師による診断結果が出てからホームページ等に掲載いたします。）